

福岡県議会
6月定例会

地震対策などに約30億円

玄界島復興、マンション対策など要望

福岡県議会の6月定例議会が、6月7日開会、同24日閉会の日程で開かれ、県は福岡県西方沖地震対策などのため、約30億8400万円の補正予算を組みました。

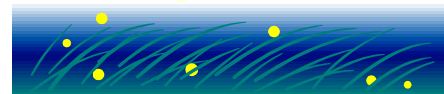
公明党福岡県議団は、代表質問で玄界島の住宅、漁港復興の早期着手を求めたほか、都市部マンション被害への支援策の充実、住宅再建共済制度の創設、倒壊危険ブロック塀の広範囲な点検などを主張しました。

これに対し麻生渡知事は、玄界島の公営住宅の建設に早期に取り組みたいとしたほか、「安全対策推進協議会」を設立しブロック塀の安全点検を進めるなどと答えました。

危ない！ 子どものメディア漬け
高橋議員が「ノーTVデー」など促進

公明党福岡県議団の高橋雅成議員は、6月定例議会の一般質問で、子育て・教育と映像メディアとのあり方についてたどしました。高橋議員は、幼児期からテレビやビデオ漬けになっている子どもが自閉症のような症状になる例や、映像メディアが脳の働きを抑止するという研究報告などを紹介し、脳の発達著しい0歳から2歳の間は、なるべく映像メディアに接するべきでないと主張。その上で、

家庭や地域で行われているノーテレビデーの取り組みの推進 妊娠中も含め、子育てを行う親に幼児への映像メディアの影響を警鐘 学校、地域でのメディア・リテラシー教育の充実などを求めました。麻生知事、森山教育長は前向きな答弁をし、特に については、母子手帳ととも

キャナルシティーに
ホタルが飛んだ！

福岡市博多区のキャナルシティーにこの夏、ホタルが飛び、話題になっています。誕生から10年を迎えることから、キャナルシティーがホタル用のビオトープを設置、幼虫を放流し、育てていたものです。

6月末にはホタルの成虫が誕生し、20日以降からホタルが光っているのが確認されました。

ホタルの幼虫は博多小学校と住吉小学校の生徒が4月23、26の両日に放流、観察を続けています。かねてから都会の中にホタルが飛ぶ自然を取り戻そうと呼びかけていた高橋雅成県議も放流に参加しました【写真】。

に手渡している冊子「子育て1、2、3」「母子手帳(別冊)」に新年度から子どものメディア漬けへ警鐘を鳴らす内容を盛り込むことになりました。



異常気象でダムなどの水事情を調査

6月の記録的な少雨に続き、7月に入って局地的に大雨が降るなど、異常な梅雨となったことから、高橋雅成議員ら公明党福岡県議団は7月4日、田川郡添田町の油木ダムや行橋市、築城町の水田、農業用井戸、貯水池などを視察し、水事情を調査しました。

油木ダムは、北九州市、京築地区の飲料水や農・工業用の水がめで、有効貯水量は1745万立方メートル。6月の少雨と田植え時期が重なったことから、ダム底が姿を見せ、水没していた橋が姿を見せていました。貯水率は最悪だった16・9%（7月1日）よりも増えていましたが、いまだに20%を切る状態で、今後の飲料水や農業用水の確保に不安を残したままでした。また、水不足から行橋、豊前両市、新吉富村で21ヘクタールにわたって田植えを断念するなど農家にも被害が広がっていました。

一方、高橋議員らは福岡市の海水淡水化施設も視察、日量5万トンの給水が始まることを確認しました。



農業用井戸(上)、油木ダム(下)を視察する高橋議員ら

東京都議選 公明23氏が完全勝利！！

7月3日に投開票された東京都議選で、公明党は現職14、新人9の23氏が全員当選を果たしました。15の選挙区でトップ当選、6選挙区で過去最高票を獲得する完全勝利と

なりました。公明党は「黨員、支持者の皆さまに心から感謝と御礼を申し上げます」「お約束した政策の実現に全力で取り組んでまいります」との党声明を発表しました。